

会 議 録 (概要)

会議の名称	佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（案）に関する意見交換会
開催日時	令和2年2月1日（土） 13時～14時30分
場所	金井コミュニティセンター
会議内容	1 開会 2 あいさつ 3 意見交換会 1) 資料説明 2) 補足説明 3) 意見交換 4 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、その理由）	公開
出席者	<<市民>> 11名 <<市役所>> 8名 市長 三浦 基裕 企画課長 猪股 雄司 企画課課長補佐 中川 裕二 企画課行革推進係長 椎 俊介 企画課行革推進係主事 菊池 勇司 企画課政策推進係長 安藤 辰也 企画課政策推進係主事 北見 航希 企画課政策推進係主事 澤山 千明
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	
備考	

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
中川課長補佐 三浦市長 猪股課長	<p>（開会）</p> <p>（挨拶）</p> <p>（配布資料¹～⁴に基づき説明）</p> <p>（配布資料⁵～⁶に基づき説明）</p> <p>（捕捉説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、個別施設計画（案）についてはパブリックコメントを実施中である。計画内容については、市が抱える 800 近い施設の個別対応策や対策費用を明らかにするものである。 ・しかし、個々の施設の個別対応策については行政のみでは決定できないため、利用者等との対話の中で検討を進めたい。計画としては今回策定するが、具体的対応策が決定しているものはごくわずかである。それ以外の施設については、まさにこれから市民の皆様と 2 次評価について決定する段階にある。 ・個別施設計画（案）の第 5 編には市の考え方を記載しているが、これは決定事項ではない。「将来ビジョン」「第 3 次集中改革プラン」等において既に方針が決定している施設もあるが、それらも含めて市民との対話の中で進めたい。 ・今後の財政見通しについては厳しいものがある。施設の整理は難しい問題だが早急に取り組む必要がある。本日は個別施設の内容については議論しないが、今後の進め方についてご意見をいただきたいと考えており、まずは、平成 30 年度に実施したアンケート結果を抜粋して紹介する。 <p>（配布資料の⁷に基づき説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私どもとしては、総合管理計画においても「佐渡市全体の観点から適切な管理を推進していく」としており、本日はこの観点においても皆様よりご意見をいただきたい。
中川課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・今ほどは概要を説明した。これから意見交換の時間とさせていただきたい。資料の¹～³は総合管理計画に関する説明である。この内容にご質問等あればいただきたい。
A 氏	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の¹において、人口あたりの棟延床面積を類似団体と比較しているが、観光人口が含まれていないのではないかと。観光人口を考慮するとどのようになるのか。 ・施設評価（1 次評価）について。中国で新型のコロナウィルスが発生した。福祉の観点から厚生性の評価を考える必要があるのではないかと。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の質問にお答えする。 ・資料では、佐渡市の公共施設の保有状況について類似団体と比較している。今後、個別施設計画については 12 の施設類型ごとに検討することとなる。 ・観光施設等については産業関連施設に分類されるが、この分類においては、当然、観光客の入込数等も勘案して計画を練ることとなる。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・1 次評価は建物の現状に関する評価である。ウィルス等の評価は含まれていな

<p>A氏 猪股課長</p>	<p>い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、新穂田野沢診療所は解体とのことである。厚生性という観点から観光客を避難等させる場合が生じた際、何かしら対応策が必要ではないか。 ・今のご意見は防災の観点のお話であると思う。個別施設計画については、1次評価については施設の現状において評価し、今後、利用実態等に基づいて2次評価を実施する。
<p>A氏 猪股課長 中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目に厚生性の項目は入っているのか。 ・資料4(3)の四角の枠内（政策優先度の評価基準）のとおりである。 ・これらについても、市民との対話の中で検討するということである。本日は配布資料にもあるとおり行政用語等飛び交っている。その中身においてご不明な点等ないか。 ・冒頭で担当課長からも説明したが、1月10日からパブリックコメントを実施している。2月10日までである。本庁、各支所・行政サービスセンター、意見交換会実施の5会場においても個別施設計画（案）を閲覧できる。HPからも閲覧やご意見の投稿が可能である。是非ともご覧いただきたい。
<p>B氏 三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の観点からは遠ざかる意見となるが、金井地区に子どもの遊び場がとて少ない。ゆずろ公園の再整備についてお願いしたい。また、中央図書館と児童館の複合施設があると、外で遊べない時も助かる。 ・児童館や図書館については、2次評価を実施する中で各々の類型の中で集約化、複合化等の個別対応策について、施設の用途や設置目的、今後の利用価値等も含めて様々な角度から分析し、個々に対応策を定めたい。 ・今後、各々の地域の施設をどのように取りまとめるかについて検討していくこととなるが、地域の個々の施設については、それぞれ素案を作成し市民の皆様にお示しする必要がある。例えば公園施設については、佐渡市トータルの公園施設の中で、距離感等も含めながら要不要について検討する作業を続けることとなる。他の会場でも同様の説明をしたが、居住地区内の施設の具体案ができた時に1つ1つまた説明しなければと考えている。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料にはアンケートの結果を抜粋して掲載しているが、担当課長からはこの結果に基づいたエリア分けの説明もあった。このあたりについて、今後の進め方についてアドバイス等あればいただきたい。
<p>猪股課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・このご意見については、各会場でうかがってきた。 ・個別施設計画を進めるにあたり、佐渡市をいくつかエリア分けしてはどうかという意見があった。公園といった施設類型については佐渡を1つとして考えることもできるかと思うが、もう少し細かくエリア分けをした中で検討する必要がある施設もあると思う。 ・例えば、アンケート結果にもあった「車で30分圏内」に着目すると、両津地区から佐和田地区までをカバーできる広さがある。したがって、「もう少し狭く、15～20分が適当ではないか」といった検討をしている。他にもお考えがあればいただきたい。

C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の意見交換会の目的は何か。 ・現在、パブリックコメントも実施中であるが、資料は市のホームページにも掲載されている。これに対し、本日の資料は A3 用紙 2 枚である。具体的なカルテもない。意見交換会を実施することによってどのような意見が得られると考えているのか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・実際問題として、アンケートの中で総合管理計画の認知度が低いという結果が出ている。パブリックコメントを実施するについても、総合管理計画の考え方の周知が足りないため、まずは総合管理計画と個別施設計画の概要について説明するとともに、今後の進め方についてのご意見を市民の皆様からいただき、今後の参考にしたいと考えている。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会は本日で最後と思う。これまで実施の中で、目的の意見は得られたのか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・最も大きな問題であるエリア分けと、計画の進め方について各会場でご意見をうかがっている。 ・エリア分けについては、施設類型別、人口密集度別等、色々のご意見をいただいた。進め方について、例えば、ワークショップ形式やこれまで多かった代表者形式について提案し、それぞれの在り方や、それらを複合した形式についてご意見をいただいている。「ワークショップ形式がよい」という意見もあれば、「市民だけでなく企業の社長さんを集めてはどうか」との意見もあった。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会を実施し、パブリックコメントを実施する。その上で、集まった意見に基づいて計画等を変えようというのが主旨かと思う。
椎行革推進係長	<ul style="list-style-type: none"> ・当然、いただいたご意見については活用する。 ・総合管理計画については、計画策定から 4 年が経過しているため来年度が見直し時期にあたる。今回いただいたエリア分け等のご意見については総合管理計画の改定にも活かしたいと考えている。 ・個別施設計画の建てつけについては、国のマニュアルやガイドラインに沿いながら作成している。今後の計画の進め方に関するご意見については、2 次評価の考え方に活かすものである。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・2 次評価に活用していただきたい。 ・総合管理計画を知らない市民が 7 割以上である。700 以上の施設がどのような評価を受け、その内容が明記されていないと意見は出ないのではないかと思う。 ・総論賛成・各論反対が出てくるはずである。各地域によって様々な観点がある。例えばゆずろ公園の話があったが、公園については「この公園とこの公園は危険であるため、こちらの公園を利用していただきたい」というような方向性を示してもわからないと市民は分からない。どこを廃止するのか、なぜ廃止するのか、そのあたりが分からないと市民は意見を出せない。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後 2 次評価を実施する 700 施設について、方向性を固めるのはこれからである。そしてこれは半年や 1 年程度で確定できるものではない。 ・12 の施設類型において、例えば市営住宅と体育館ではまったく異質である。そ

	<p>ういう部分を含めてこれから2次評価を進める中で、「評価の方法について重きを置く部分はどこか」「どういった点に思いを馳せる必要があるか」などについて意見を聞くのが今回の主旨である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、個別施設の一定程度の方向性を素案として作成し、各地域には個別の物件を説明する場を持つ必要がある。エリア分けについては、各エリアの持つ特徴も含めた中で検討が必要である。そうしないと総論賛成・各論反対となる。 ・ 市民は身近な施設に触れられないと関心を持たない。その身近な施設の方向性を決定するに際し、どのような方法論等があるかについてご意見をいただきたいというのが今回の主旨である。
C氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初に司会者が主旨をしっかりと説明すべきであった。その説明があれば私はこのような質問などしていない。
A氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あなたは公共施設をどのくらいの頻度で利用していますか」という設問について。公共施設には公園もあれば図書館もある。こういう大枠で質問することに何の意味があるのか。何を知りたいのか。意味がないのではないか。具体的なイメージを捉えないと、何かを政策するにつてもぶれるのではないか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートについては抜粋であることをご理解いただきたい。 ・ アンケートについては、施設類型ごとに頻度を細かく抽出している。当該設問についても、保育園、庁舎、公園等類型ごとに頻度を示している。
A氏 猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ もっとグラフを用いるなどして市民に説明する必要があるのではないか。 ・ 本日の資料にはすべてを掲載していない。そういった資料等をご欄いただくためにもパブリックコメントを各会場で実施している訳である。
B氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瑣末なことかも知れないが、両津文化会館が廃止となるようだが、すごく立派なピアノがあると聞いている。誰でも弾けるように佐渡汽船に置くようなことは考えられないのか。
猪股課長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明確な回答はできない。 ・ 例えば、東京都庁のピアノや、所謂「駅ピアノ・空港ピアノ」については耳にしている。しかし、これを佐渡汽船でできるかどうかは別問題である。担当課に伝えたい。
D氏	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を見て3点ほど申し上げたい。 ・ 施設総量の削減目標は30%とのことだが、佐渡市は道路や上下水道等のインフラにお金がかかる。個人的には30%削減では少なすぎると感じており、50%程度の削減目標が必要ではないか。取っ掛かりとしては30%でよいかと思うが将来的には50%程度を考えなければならないと思う。 ・ 2点目は、集約に伴い施設総量を減らすだけでなく複合化を進めてほしい。技術革新やICT等を活用し、博物館機能や幼児教育も複合化してメンテナンスコストを縮減し、1施設に様々な用途を持たせることによって利用率を上げることができるのではないか。 ・ 3点目はエリア分けの話に関係する。 ・ 人口が減少しているが、エリア別にみると減少幅が大きな地区、少ない地区が

<p>三浦市長</p>	<p>ある。将来的に限界集落となる見込みの地区の救済を含めると「コンパクトシティ」という考え方が前提として必要となるのではないか。今後の検討の際にこういった点を考えていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減目標はあくまで現状における目標である。30%でもハードルは高いが、施設類型別に廃止施設の候補によって財源の出入りが上下するため、その分析を見定めてから次の段階へ進むしかないのかなと思う。 ・施設の複合化については、一定の統廃合により、施設がこれまでの住まいより遠のくパターンが発生する。その場合、遠くの施設まで行くのか、それとも近場の複合施設で用を足すのかを含め、「現状の地区を離れたくない」という意見が多数を占める現状なので、これまでは公民館の会合でしか使用しなかった集会施設の用途変更も含めた取り組みが必要である。 ・大規模施設の維持が困難な時代であるので、小さな地域の中で要求を満たせる方法が必要である。距離感のみでなく、施設類型別の分布も含めて総合的に考える必要がある。
<p>中川課長補佐</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・30%の削減目標は将来人口の減少を見据えた H28 年度現在の数値である。50%という考え方は、今後の人口減少を見据えるとあながち遠くはないかも知れない。
<p>三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の 6 には学校施設の長寿命化が記載されているが、学校については同年代に整備したものが多いため、現在は建築から 30 年程度を経過しながら定期メンテナンスの施されていない施設が多い状態となっている。 ・統廃合の予定のない学校の改修や長寿命化によって 10 年間で年間約 10 億円程度のコストがかかることが予想されている。学校施設だけでもこれだけコストがかかる訳であるから、他の施設類型においてもコスト面については意識しながら検討する必要である。
<p>C 氏 権行革推進係長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会は本日で 5 箇所目である。これまでの出席者数は何名か。 ・羽茂地区が 13 名。佐和田地区が 4 名。相川地区が 8 名。両津地区が 6 名である。
<p>C 氏 三浦市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会の実施について、どのように自己評価しているのか。 ・自己評価は難しいが、市報、市民メール、LINE、SNS、市ホームページ、ケーブルテレビ等、現在市で実施可能な広報ツールをすべて活用している。「第 2 次将来ビジョン」の意見交換会も含め、この種の意見交換会を開催するにあたってはすべてそのような方法である。その中であって、今回の個別施設計画（案）に関する意見交換会については最も参加者が少ない。 ・各地区において、最寄りの施設の話題がないために関心が薄いことはよく分かった。かといって、今後 2 次評価を進めれば各論反対となる。今後の検討方法等について、計画の進め方の土台の部分についても意見をいただきたいということを含めても、トータル的な意見交換会であったために市民の興味は低いものであると感じた。 ・個別の体育館や図書館の統廃合を案件とした時に、初めて関心を持って出席す

C氏	<p>る方が増えるのかと思う。我々がいただきたいご意見は「これから2次評価をどのように進めるのか」「どのように検討するのか」というご意見である。エリア分けも公平性を担保しながら方向性を示す必要があり、今回の意見交換会を踏まえて今後の素案を作成するについては、よりよい方向性を探りながら検討にあたりたい。今回の意見交換会の参加状況に鑑みれば、その際に各論反対が起こることは覚悟しなければならないと感じている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の回答になっていないと感じる。 ・佐和田地区の参加者が4名ということについては驚愕である。様々な広報ツールを駆使しながら参加者が4名ということは、何か他に原因があるのではないか。 ・司会者が悪いのではない。この意見交換会が無駄だった気もしない訳ではない。自分でも何を言っているのかよくわからないが、とにかく残念である。
A氏	<ul style="list-style-type: none"> ・教えていただきたい。企画課は企業に例えると1つの文化があると思う。企業理念のようなものである。そういった哲学等はお持ちなのか。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業文化は民間企業では当然持ち合わせており、行政にも佐渡市としての考え方は当然あるものである。しかし、個別の課が個別に文化を持ち合わせるということについては疑問である。あくまで佐渡市全体として持つものであり、個々が別々に持つものではないと私は認識している。 ・企画部門は、トータルの専門部署に対してのコーディネータ役であり、企画立案・調整について、市民との役割を含めてコーディネートするのが仕事と思う。
E氏	<ul style="list-style-type: none"> ・エリア別の考え方については距離感に基づく考え方になろうかと思う。 ・「第2次将来ビジョン」の策定に向け、一定の範囲で設けた「エリア別振興策」についても検討してきたが、距離範囲といったエリアだけでなく、市長からの説明にもあったと思うが、「種別のゾーン」のような考え方は必要な気がしている。旧市町村時代の都市計画にはそのような考え方やヒントがあるのかなと思う。どのみち今後は、沢山ある施設は縮小する訳である。廃止するところは廃止しなければならないし、複合化する必要もある。原点に立ち返って見直す必要があるのではないか。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・「エリア別」という言葉を頻繁に用いるため、誤解があるのだと思う。 ・「第2次将来ビジョン」の「エリア別」については産業振興策のみの考え方である。先ほどの担当課長からの説明は、例えば「公園であればこういう範囲の分け方ができる」「学校はこういう範囲が必要である」というものである。混同されないように工夫する。
E氏	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年、畑野の先輩方から教えていただいたが、畑野地区の温泉周辺は福祉健康ゾーンという考え方で整理してきたそうである。野球場、テニスコート、温泉、高齢福祉施設あり、そういったゾーニングの中で整備してきた経緯があることを教えていただいた。 ・現在はそのゾーンの考え方は崩れてきているが、そのような考え方があったことを知る人もいないと思い、あえて皆様に聞いていただいた。もう1度、そ

猪股課長	<p>のあたりについて地域ごとや範囲を広げた形も併せ、行く先のためには都市計画的な側面からも考え方を紐解く必要もあるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併前の市町村ごとの都市計画については、まちづくりを考えながらの経過があると思う。 ・両津地区についても、福祉や文化をゾーニングして考えた経緯があり、旧市町村別にそういった考え方があるはずである。 ・今回の個別施設計画ではまちづくり論は難しいと思う。D氏のご意見のとおりコンパクトシティを目指すためのゾーニングは目指す必要はあるかと思うが、市議会においては、「新市建設計画においては3つのエリア」「都市計画マスタープランでは4のエリア」と理解されている。 ・個別施設計画の中では施設類型別にエリアを設定する必要があるかと思う。簡単に言えば10市町村に同じ施設が10あるので、佐渡を1つと考えると、1施設なり2施設なり減らすことを市民の皆様と検討する必要がある。
F氏	<ul style="list-style-type: none"> ・意見だけ申し上げたい。 ・人が集まる施設については交通の便が良いところに配置し、コンベンショナルな施設であれば港付近に整備するなどの考え方はあるかと思うが、施設の配置は佐渡市全体のまちづくりの視点が必要なのではないかと思う。 ・文教施設については旧市町村単位の考え方があるかと思う。集約するについても、市街地には駐車スペースが少ない等の事情も考慮し、核となる施設をどの地区に配置し、それ以外の地区については中程度の施設を整備するなどのトレードオフは必要ではないか。 ・例えば、図書館についても10地区にある図書館や図書室を統廃合するにあたっては、蔵書数の充実やエレベーターの設置等の利便性の向上を打ち出すことができれば多少なりとも議論は前進するのではないかと感じている。
三浦市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおりかと思う。3施設を1つに集約する際には駐車場も含めた利便性の向上は大事なことである。先ほどから説明しているが、統廃合してもサービス水準は維持することが大前提である。今の意見については2次評価の大きな要素である。貴重なご意見に感謝する。
中川課長補佐	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員も市民であることには変わりなく、私としても色々と質問をしたい思っている。大体ご意見も揃ったようなので、時間的にもここで区切りとさせていただきたい。 ・引き続き、パブリックコメントについては2月10日まで実施しているので、個別施設計画（案）について手に取ってご覧いただきたい。
猪股課長	<p>(挨拶・閉会)</p>